

**内科診療案内の変更**

10月1日より新規医師に内科の荒幡 昌久医師が着任されたことにより、内科の診療案内が変更します。

		月	木
内 科	午前	清水 → 荒幡	
	午後		なし → 荒幡
消化器内科	午前		なし → 河合
	午後		河合 → なし
血液内科	午後	荒幡 → なし	



荒幡 昌久 医師

**コメント**

2年ぶり2回目の赴任になります。よりよい地域医療の提供を目指して、診療はもとより、医療者の育成にも力を入れてまいります。

**第55回 全国糖尿病週間 イベント**

日時：11月13日(水) 10時~12時  
場所：1階 フロア

テーマ：「サルコペニア・フレイル ~筋肉量 保って伸ばそう 健康寿命~」

**イベント内容**

医師・理学療法士によるミニ講座、看護師による血圧・血糖値測定の他健康相談、管理栄養士による試食コーナー（筋肉の素となるタンパク質豊富な2品目）

イベントでは、外来通院中の患者さんやそのご家族など多数参加され、「筋肉が落ちてきたからたんぱく質を摂るようにしたい」「運動を頑張りたい」などの感想が聞かれました。また、試食では、「薄味でもおいしい」「家でも作ってみたい!」という声を多くいただき、健康への関心が高いことが伺えました。

今回のイベントが糖尿病の方のみならず、自身の健康への関心を高めるきっかけにいただけると嬉しいです。

**血圧・血糖値測定**



理学療法士によるミニ講座

来年も開催予定ですので、ご来場お待ちしております!



**病院バス・市バスの「バス停」移動について**

令和元年11月20日よりバス停を南棟玄関前から中央棟玄関前に移動しました。乗降場所をお間違えないようよろしくお願いいたします。バス待合には中央棟玄関の風除室をご利用ください。



中央棟玄関前

**年頭のご挨拶**



院長 清水 幸裕

皆さま、明けましておめでとうございます。

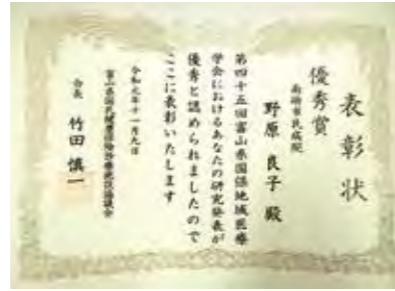
昨年、ドクターカーの運用開始を決定しました。これは、地域医療を救急から終末期まで支える活動を目的としたもので、我々は「地域密着型ドクターカー」と呼んでいます。これからの南砺市の医療を守るためには重要な活動だと考えていますが、当院が先進的に行うものであり、いろいろな障壁が多いのも事実です。病院外の専門の先生などにも協力していただきながら少しでも地域医療に貢献したいと考えています。3月から運用を試行し、4月から本格的な運用を予定しています。ただ、皆さまが、病院に直接電話してドクターカーを呼ぶことはできず、必ず救急車の要請に基づいて救急車と同時に病院から現場に向かうことになりますので、何卒、ご理解の程、よろしくお願い致します。

さて、昨年10月に、全国の公的病院の医療内容が精査され、424の病院が再編・統合の対象として公表されました。当院はリストに入ってはいませんでした。今後の人口減に向け、病院の機能・形態を変えていく必要があります。さらに、ますます厳しくなる病院経営にも今まで以上にしっかりと取り組んでいかなければいけません。ここ10年から20年は、今まで通り当院が行う急性期医療（急に病気になった人に対する医療）は必要であり、回復期（急性期の病気の治療が終わり、在宅復帰に向けてリハビリなどを行う時期）や在宅医療をさらに充実させ、しっかりと地域の医療を支えていきます。また、今までも腸活など病気の予防や健康の維持について啓発をし、すまいるエイジ教室（地域包括ケアセンター）で介護予防活動を行ってきましたが、今後は今まで以上に健診・ドックの体制を整えて、住民の皆様が健康な時から病気になってしまった時、そしてその後まで一貫して病院が管理できるような体制を整えていくつもりです。

昨今、人工知能（AI）やIoTなど、いろいろな技術が医療の分野に取り入れられるようになってきました。今後、急速に発展して医療を変えていくことが予想されます。当院でも、積極的にこれらを取り入れていく予定で、最先端の医療環境を整備していきます。ただ、どんなにこれらの技術が医療に取り入れられても、最終的に診断をして治療方針を決定する責任は医師にあります。さらに、「温かな心」がなくては本当の医療とは言えません。常に「病気」だけを診るのではなく、「病気を持った人」そして「病気を持った人の人生」を診ることができる温かな医療人を育てていき、住民の皆さまに信頼され選んでもらえる病院を目指して職員一同努力していきます。本年も何卒宜しくお願い致します。

**Congratulation** 当院の発表が表彰されました!

11月9日に第45回富山県国保地域医療学会にて当院の野原良子看護師長が「超高齢化社会における終末期医療を考える」というテーマで、当院でのACP\*の取り組みと、ACPを知ってもらうための地域への啓発活動を紹介し、優秀発表として表彰されました。



野原看護師長と清水院長(左)、荒幡医師(右)

\*ACPとは「アドバンス・ケア・プランニング」のことで、自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて、前もって考え、医療・ケアチームと繰り返し話し合い共有する取り組みのことです。

第4回 南砺市民病院 **病院フェスタ** 令和元年 10月19日(土)

テーマ 「腸活は長寿の秘訣」

来場者の声

- ・今回初めて参加しました。大変良い試みで次回も是非参加したいです。
- ・血管年齢の検査をして思ったより良かったから元気が出ました。
- ・大腸検査、腹腔鏡体験楽しかったです。
- ・スタッフの方が親切で楽しく過ごせました。



市民の皆さまの健康意識を高めることや南砺市民病院を身近に感じてもらうことを目的とし、南砺市民病院フェスタを開催しました。腸活に関連する盛りだくさんの展示や参加型のイベントを企画し、お子さまから年配の方までたくさんの方々に参加していただき、大いに盛り上がりました。ご来場くださった皆さまありがとうございました。

腸活ドリンクレシピ **バナナ豆乳ヨーグルトドリンク** 作り方 すべての材料をミキサーにかけるだけ!

材料	分量	ポイント
ヨーグルト	300g	プロバイオティクス(善玉菌) ・ヨーグルト
豆乳(無調整)	200ml	プレバイオティクス(善玉菌のエサ) ・豆乳
バナナ	1本	・バナナ
オリゴ糖	適量	・オリゴ糖

このジュースだけで、善玉菌とそのエサの両方を同時に摂ることができます。

令和元年度 **社会に学ぶ「14歳の挑戦」** 参加者：井波中学校7名 庄川中学校4名 期間：9月30日～10月4日



管理栄養士体験

行事カード作成



介護福祉士体験

デイケア利用者さんと季節の飾り作り

参加した11名には、看護師やリハビリ、管理栄養士、介護福祉士、歯科衛生士と様々な職種の職業体験を行っていただきました。今年度は臓器移植についてのお話を聞く機会があり、臓器の役割について学ぶことができ、臓器移植を受けた子供たちの絵を鑑賞し『命』の大切を実感することができたと思います。

また、患者さんに寄り沿う工夫がどの職種でも行われていることに気づくとともに、病院での仕事のやりがいを感じることができたと思います。最初は戸惑いもみられましたが、患者さんとのコミュニケーションも次第に上手にとれるようになり、成長が感じられた5日間でした。



歯科衛生士体験

歯形をとる体験



看護師体験

患者さんとのふれあい

部門紹介 **急性期内科病棟(4階病棟)**

南棟4階病棟(通称4病棟)は、救急外来から重篤な状態にある患者さんが直接入院される病棟です。急性期の状態にある脳梗塞、重症肺炎、重症心不全等のケアを行っているため、急変の予見など質の高い看護が求められ、学習会開催など専門的知識の向上に努めています。また、人工呼吸器や微量点滴を含め様々な医療機器を使用しているため、医師や臨床工学技士などと情報共有を図りながらチーム一丸となり患者さんの治療・ケアを行っています。

当病棟は、在宅療養支援についても患者さんの「自宅へ戻りたい」といった意思を尊重し、退院後も積極的に自宅へ伺い、患者さん・家族の不安軽減に努めています。常に患者さんに寄り添い、この病院で良かったと思える看護を目指しています。



作業療法士 最後まで自宅にいたい。 医師 看護師 訪問看護師



退院後看護師が自宅へ訪問し経過を見てきました。



初期研修医1年次 加藤 大思

ニューフェイス 初期研修医紹介

福井出身の福井大学卒で、県外で地域医療と内科的な診療を学ぼうと思いこの病院で初期研修をさせていただいています。患者さんの退院までの道筋を考えながら診療に当たることは、看護師、理学・作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、栄養士、社会福祉士など多くの方の力で成り立っていることを実感しています。少しでも地域医療に貢献できるようこれからもがんばっていきます。大学在籍時は文芸漫画研究会に所属しており、漫画を少し描いてました。南砺市の気候、習慣や食、祭りなどにも興味があるのでいろいろと教えてください。



イラスト：加藤大思